

令和5年度
学校評価報告書



都城市立山之口中学校

令和5年度 都城市立山之口中学校 学校評価（自己評価）

4 そう思う 3 どちらかと言えばそう思う 2 どちらかと言えばそう思わない 1 そう思わない

		評価項目	評価（平均）
確かな学力の育成	1	生徒が授業の内容を理解しやすいように授業の改善・工夫に努めている。	3. 2
	2	（教科担任者として）生徒の80%は「おおむね満足できる」学力を身に付けている。	2. 7
	3	家庭学習へのアドバイスをしたり、宿題の見届けを行ったりしている。	2. 9
	4	生徒は、よく読書をしている。	2. 3
	5	キャリア教育をとおして、生徒は自分の将来について考えている。	2. 5
心の教育の充実	6	生徒は、自分から進んであいさつしている。	2. 8
	7	生徒は、生徒会活動や学校行事に積極的に参加している。	3. 1
	8	生徒は、清掃や美化活動等の奉仕活動にすすんで取り組んでいる。	2. 8
	9	生徒は、思いやりや温かな人間関係を大切にする心が育っている。	2. 9
	10	生徒は、ルールやマナー（服装、身なり、時間など）を守って学校生活を送っている。	2. 9
	11	道徳の時間に、生徒は自分を見つめ、振り返ることができている。	3. 0
	12	生徒の相談に応じたり、生徒とのラポートづくりに努めている。	3. 2
健康安全と 体力の向上	13	給食指導等において、食の大切さを意識させている。	2. 9
	14	生徒は、部活動に真剣に取り組んでいる。	2. 9
	15	生徒に、交通ルールやマナーの意識を高める指導をしている。	3. 1
	16	避難訓練等で、生徒の防災意識が高まっている。また、危険箇所を放置せずに対策を講じている。	3. 0
家庭地域 との連携	17	総合的な学習の時間等において、生徒と地域との関わりを持たせることができている。	3. 3
	18	教育活動や生徒の様子に関する情報を積極的に発信している。	3. 3
	19	生徒の状況について、保護者との連携がよくとれている。	3. 2

① 確かな学力の育成

重点努力事項	具体的取組	学校の自己評価結果コメント	学校運営協議会委員の評価コメント
<p>基礎的・基本的な学習内容の定着を図るための取組</p>	<p>○ 1・2学年を対象に「学力向上テスト」を実施した。(5教科で年間1回ずつ範囲を決めてテストを実施し、満点者を表彰。)</p> <p>○ 「学習態度徹底週間」(2～3か月に1回)を設け、授業前の黙想、あいさつ、学習用具の準備など、基本的な学習習慣の徹底した指導と、教師の発問に対する反応や発表の向上を図った。</p>	<p>○ 第4回終了時点で、連続満点者は1学年5名、2学年4名である。他の生徒に関しても、努力しただけ点数に結び付き、称賛されることで、学習に対する意欲向上に繋がった。定期テスト内容と関連付けて作問することで学習内容の定着に役立てることができた。また、昨年度の学校運営協議会委員からのご意見を踏まえ、満点者への賞賛の在り方を職員で協議し、満点者名の廊下掲示は行わないこととした。</p> <p>○ 委員会の生徒を中心に、生徒達自身が「積極的な授業態度」を目指して授業態度改善に取り組んでいるが、徹底週間以後の継続が課題である。</p>	<p>○ よく分かる授業への努力や個々の生徒に対応した指導がなされている。ただ、アンケートで本当に分かったと実感している生徒が、1・2年生で少し減少しているのが気になる。</p> <p>○ 先生方の具体的な指導で生徒の意欲を引き出し、しっかりとした学習環境作りが結果に結びついたと思う。</p> <p>○ 努力をすれば点数に結果が出ることを意識する生徒が増えてほしい。</p> <p>○ ほめられることは、生徒の自信や誇りにつながり、更に向上意欲を増す。左記の取組などを含めて、より良い向上を目指してほしい。</p> <p>○ 学習への取組に課題はあるものの良い評価だと思う。「学習は誰のためにするのか」一人一人の生徒に合った目標と自覚を育てる指導が必要だと思う。</p> <p>○ 学校内では、生徒と先生の信頼性を築いていただき、学習する楽しみを植え付けて頂き、また、家庭内では生徒から保護者、兄弟への報告と会話を密に行い、生徒の意見を重視し、どのような会話にもモチベーションを高めさせることが徹底週間以外での学力向上に繋がっていると考えている。</p> <p>○ テスト結果の掲示については、掲示されなくても努力が結果に結びつく喜びは各々が意識していると思う。</p>
<p>学習指導方法の工夫改善</p>	<p>○ 一人一台導入から3年目となり、各教科の授業においてタブレットを「使ってみる」段階から「効果的に活用する」段階へと職員の意識や技能が高められるよう、校内研修を計画的に実施した。</p>	<p>○ 目的に応じてタブレットの活用が図られるようになってきており、使用する場面と、従来通りに紙媒体教材を用いて筆記用具で書かせる場面等の使い分けがなされてきている。個々の教師の授業スタイルにより、活用法が異なるが、本年度より県学習状況調査がC B T形式(コンピュータ(タブレット)を使用して実施するテスト)に変更され、次年度より全国学力・学習状況調査についても順次C B T形式での実施となることを踏まえ、今後も校内での研修を継続していく。</p>	<p>○ タブレットをいかに有効に使わせるか。生徒・先生方も分かれ目の時のように思う。どんな面において有効か、紙媒体の必要性も考えながら検討してほしい。</p> <p>○ タブレットを使うことで、学習の工夫をこれからも実施してほしい。</p> <p>○ ITの社会で生きていくことになる生徒のためにも、ICTに積極的に取り組んでほしい。</p> <p>○ タブレット使用により、得られる情報も格段に多くなるため、情報の取捨選択が大事になると思う。考える力を身に付けることを大切にしてほしい。</p> <p>○ タブレットが一人一台持つようになり、習熟度に応じ学習することができ、学習意欲の向上につながると思う。</p> <p>○ タブレットの活用について、授業内容の理解をどれだけ生徒ができていかに成績で判断できているか、先生方についても模索されながらの対応となっていると考えているので、生徒も先生も結果を求めていくのなら、都城市内の中学校19校の教科毎のランキング化することで良し悪しが判るのではないかな。</p>
<p>家庭学習の充実を図るための取組</p>	<p>○ 学習・進路通信を発行し、学習や進路に関する情報を家庭向けに発信し、学力向上への意識を高めた。</p> <p>○ 定期テストや実力テストの際には、学習計画表を作成させ、学習に取り組みさせた。また、テスト期間中は6校時目をカットして早目に下校させ、家庭での学習時間を確保できるようにした。</p>	<p>○ 1年時から進路に関する情報に多く触れさせることで、1・2年時から、定期テストや実力テストの機会を大切にしようとする意識が高まってきている。</p> <p>○ 計画表作成や、テスト対策を兼ねた家庭学習を課すものの、学習が不十分な生徒も見られるため、各学級担任が個別に保護者と連携して指導にあたった。</p>	<p>○ テスト前の対策はもちろんだが、日常的に家庭学習の習慣化をどう付けるか、保護者も含めて啓発が必要だ。</p> <p>○ 家庭での学習について、生徒と保護者との差が大きい。これは、生徒の進路との関連の自覚がまだ低いのも原因だと思う。その意味でも、キャリア教育で幅広くいろいろな話を聞くことも大事だと思う。</p> <p>○ 家庭学習は、生徒に時間等規則正しく学習する自覚を持たせることが大切だと思う。</p> <p>○ 保護者との連携がスムーズである。</p>
<p>読書指導の充実を図るための取組</p>	<p>○ 教育相談期間に、読書の時間を設定した。</p> <p>○ 図書委員会の活動の活性化を図るとともに図書館だよりを発行した。</p>	<p>○ 読書週間を設定することで、普段自主的に本を読まない生徒も本を読む機会となった。12月末時点の全校貸出冊数は3,183冊で、昨年度比349冊増加(生徒数もほぼ同数)であった。</p> <p>○ 来館者や貸出冊数の増加につなげるために、図書委員会の活動として、学期ごとに多読学級を表彰した。図書館だよりや新刊図書一覧表を配付することで図書への感心を高め、読書意欲を喚起できた。</p>	<p>○ アンケートの結果、日常的・自主的に読書の時間がかなり少ない。学校での図書貸出数だけでなく、家庭での読書習慣を身に付けさせたいものだ。</p> <p>○ 読書週間の設置が本を読む生徒の増加に繋がったことや、表彰や読書意欲を喚起できたことは評価できる。今後「読みたい本アンケート」など、生徒主導での取組を期待したい。</p> <p>○ 先生方や図書委員の努力の結果が表れている。</p> <p>○ 本を読むことは良いことなので、図書委員会を中心に、啓発活動を継続してもらいたい。</p> <p>○ 読書の効果(いろいろな人生を共有することができるおもしろさ等)を生徒に実感させることも、読書に興味を持たせる要素の一つだと思う。</p> <p>○ 読書する時間を作ることが難しいのではないかなと思う。</p> <p>○ 1週間に1回読書することや興味ある本を読む等の習慣をつけてほしい。</p> <p>○ タブレット世代であるので、電子書籍での読書もよいのではないかな。</p>

【課題と改善策】

○ 読書指導の充実に向けて

- ・ これまで学年別ご利用日を設定していたが、毎日、全学年一斉利用を実施する。(昼休みに他の活動が入り図書室を利用できないことも多々あったという生徒の声、生徒数が減少してきた現状、生徒指導面で比較的落ち着いている現状を踏まえた対応)

○ 学力の向上に向けて(保護者と生徒の進路意識の高揚を図ることが必要)

- ・ 3学年の高等専門学校推薦合格内定者、私立高校専願合格者、県立推薦合格内定者に受験報告の掲示物を作成してもらい、1・2学年の生徒がいつでも見られる場所に掲示する。
- ・ 1学年の総合的な学習の時間に「先輩の声を聞く会」を設定する。上記の生徒達を講師とし、先輩の生の声で、受験報告や1年時からの学校生活と学習に関するアドバイスをを行う内容とする。

② 心の教育の充実

重点努力事項	具体的取組	学校の自己評価結果コメント	学校運営協議会委員の評価コメント
挨拶運動と生徒会活動の充実を図るための取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小中合同のあいさつ運動の実施 ○ 花配り活動と年賀状作成 ○ 校則の改訂 ○ 募金活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 5月と11月に実施した。小学生や地域の方と共にあいさつ運動を実施したこと意義がある。 ○ 地域貢献活動の一環として大切な行事と考えている。また喜んでいただき、年賀状のお礼が届いた。 ○ これまでの校則から、多様性やジェンダーを意識した校則に変更した。保護者や生徒の意見を反映させたことに意義がある。ただ、今後も改訂を続けていく必要を感じている。 ○ 生徒会が音画し、能登半島地震のための募金活動を自主的に行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 色々な地域の活動に、一緒に取り組んでもらっていることに感謝している。地域の行事やボランティアに参加することで、他人への思いやりの心も生まれてくると思う。 ○ 花配り・年賀状は大変喜ばれているので、大変ですが、ぜひ続けて欲しい。その時高齢者の方たちと少しでもお話ができれば、もっと喜ばれると思う。 ○ 気持ちよくあいさつができています。元気にあいさつしてくれるので、すがすがしい気分になる。 ○ あいさつ運動や花配り活動は地域への活力剤となっており、大変すばらしい活動なので継続してほしい。 ○ 弥五郎塾で意見の出た、小学生との花配りでの交流を実現してほしい。 ○ 令和5年度の校則の大きな改訂を生徒会を主として行ったことは現在の多様化するニーズに応えるためとても良いことだ。 ○ あいさつ運動・募金活動など、生徒自ら率先して考察し、それを行動へ移せるというのは勇気持ちが必要である。
環境美化の充実を図るための取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 環境委員会を中心に、環境美化に努めた。 ○ 生徒会を中心に、朝の奉仕活動を行った。 ○ PTA親子奉仕活動の実施 ○ 無言清掃の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎週水曜日を環境美化の日として、校内の環境整備を行った。 ○ 登校後に、短時間ではあるが、校内の美化活動に取り組んだ。活動に参加する生徒が増えてきた。 ○ 体育大会の直前に、親子奉仕活動を行った。多くの生徒、保護者に参加頂き、運動場がきれいになった。 ○ 清掃開始時の黙想、無言清掃、終了時の黙想を徹底しているが、完全にできているとは言えない状況である。継続的に指導していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校内の環境整備が行き届いているので、学校に行くのが気持ちが良いです。 ○ 奉仕活動は疲れ様でした。おかげできれいな運動場で楽しく体育大会を参観させていただきました。 ○ 生徒数・PTA戸数が少なくなる中で、自主整備が激しい場合は外部委託をしてほしい。PTAや地域との連携が大事になってくると思う。 ○ 環境整備については、地域の個人・団体のボランティアを募集してはどうでしょうか。行事の時だけでなく、常時受け入れができれば、空いた時間にできるという人も現れるかもしれません。 ○ PTA親子奉仕作業は、先生方のご尽力により、広大な山之口中学校グラウンドの除草作業は必要ない程度まで済ませてある状態だった。今後、全員参加型の形から、任意での参加に変更しても良いと考えられる。
いじめ防止・人権教育・道徳教育の充実のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ ジェンダーについての取組 ○ いじめアンケート、教育相談の実施 ○ 山之口地区小中学校の連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小中一貫教育の取組として、12月に全校級でジェンダーについての授業を実施した。学習内容を通信に掲載し、地区の小中学生の家庭に配付した。 ○ 地区内の小中学校の掲示板にジェンダーについての啓発のための掲示物を作成し掲示した。 ○ 学期に1回の教育相談と月に1回はいじめアンケートを実施した。相談内容を全職員で共有した。 ○ 山之口地区生徒指導連絡協議会を2カ月に1回実施し、小中学校間で児童生徒の情報交換や対応協議を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指導しいじめがなくなっても、新しい生徒が入ってきたりクラス替えで人間関係が変わったりするので、指導を常に続けなければならぬ。先生方の尽力をお願いしたい。 ○ いじめのない山之口中学校であってほしい。 ○ ジェンダーについては、これから避けて通れない問題だと思うので、低年齢のうちから意識づけが大事になってくると思う。また、地域の人全員が考えるべきものだと思うので回覧で、全戸に内容を周知してほしい。 ○ いじめは、早期発見が重要だと思う。生徒と学校との連絡の充実を図ってほしい。 ○ SNSなどの連絡ツールの大幅な拡充により、生徒の携帯電話保有率がかなり高いパーセントになっていると報道があった。学校での携帯電話の使用も容認してみてはどうか。多様性巡視の時代なので、学校内での使用も有りだと考える。 ○ 学校間での協議ができているのは大変良いことだと思う。

【課題と改善策】

- 生徒会活動の一層の活性化や地域とのかかわりを充実させていきたい。とくに、地域と連携した体験活動を増やしていきたい。
- 生徒間のトラブルや生徒への指導について、保護者との連携や保護者への対応が年々難しくなっている。
- 不登校生徒の対応について苦慮している。不登校生徒の居場所の確保など、地域の協力をお願いしたい。
- 生徒数減少や社会の変化に伴い、部活動の運営が難しくなっている。地域移行が進んでいない。

③ 健康安全と体力の向上

重点努力事項	具体的取組	学校の自己評価結果コメント	学校運営協議会委員の評価コメント
健康・安全教育の充実を図るための取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安全点検を定期的実施した。 ○ 外部人材を活用した性教育の授業を実施した。 ○ 救急処置の研修を実施した。 (AED講習) ○ 新型コロナウイルス感染症対策については感染者の状況を見て対応してきた。 ○ 学校保健委員会を実施した。 ○ 新体力テストの結果を受け、改善点を明確にし、それについて取り組んだ。 ○ 全ての部活動において、担当職員の熱心な指導のもと円滑に運営できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2ヶ月に1回、職員による点検を行うことができた。可能な箇所は職員で修繕した。 ○ 性教育は、1学年で「いのちの大切さについて」2学年で「生命誕生」に関する題材で、外部人材を活用して実施することができた。3学年は3月に「デートDV」を題材に実施する予定である。 ○ 消防署職員による救急処置の研修を、夏休みに、部活動生とともに実施することができた。 ○ 朝の欠席連絡にSigfy（保護者・学校メール）を活用した。 ○ 1学年とその保護者を対象に「こころの元気について考えよう」について本校スクールカウンセラーによる講話を行った。 ○ 昼休みに、全校生徒で遊ぶ日や学年ごとに体育館を開放して運動できるようにした。楽しく身体を動かすことが定期的に行うことができた。 ○ 日々の運動の習慣化に向け、各個人にあった運動への取り組みを実施させる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 性教育の在り方が、変わってきていることに少し驚いた。これからも継続してほしい。 ○ 性教育で、いのちの大切さを学ぶことは、人を大切に思うことにつながると思う。 ○ 先日の研修で、宮崎県の人工妊娠中絶は高止まりをしていると報告があった。自分の体を守ることの大切さを伝えてほしい。 ○ 家庭では、なかなか言葉にしにくい性教育の授業で、専門家の先生に男女生徒と一緒に学べるが大変良いことだと思う。これからも継続してほしい。子どもたちには、お互いを大事に思える大人に育ってほしい。 ○ 最近、体を動かす体力・気力がない生徒も見受けられるので、安全面に注意しながら運動に取り組んでほしい。 ○ 大きな出来事（アクシデント、トラブル）は聞こえてこなかった。
危機管理意識の高揚	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難訓練を実施した。 ○ スマホ・タブレットの使い方やルールづくりについて保護者への啓発を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地震・火災について、避難訓練を実施することができた。今後は危機管理マニュアルを確認しながら、職員の動きの研修と確認を行っていきたい。 ○ 生徒に対しては薬物乱用防止教室で啓発を行った。保護者に対しての啓発は保健だよりなどを活用した。3学年の技術の時間に情報モラルに関する内容を学習した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ いろいろな場面想定をしながらの訓練を今後も計画してほしい。 ○ 能登半島地震を教訓に、これからも避難訓練を実施してほしい。 ○ 能登半島の地震が発生し、災害に対する備えやどのようなボランティアができるか、学校でも話し合ってはどうか。 ○ スマホ等の利用については弊害もあり、子どもたちが被害者にならないだけでなく、知らない間に加害者にもならない使い方の指導も大事だと思う。ルールについては保護者だけでなく、学校での協議も必要だと思う。
食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化発表会の当日に弁当の日を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ステップを6段階に分け、無理なく弁当づくりができるよう家庭に依頼した。栄養素やレシピなどについても「お弁当の日通信」に載せ、弁当づくりの参考にもらった。保護者や食材への感謝の心を育ませることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習発表会時に弁当のレシピが展示されており、内容の充実した物が多く、感心した。 ○ 子どもたちの作ったお弁当、とても楽しそうでした。今は小学生の時から料理に関わっている子供も結構いると思われるので、お弁当の日の回数を増やしてはどうか。 ○ 食育の一環として、郷土食は給食にどのように取り入れられているのか知りたい。

【課題と改善策】

- 危機管理マニュアルをもとに職員の研修の充実を図り、いざというときに生徒が安全に行動できるようにしていきたい。
- 体力テストの結果より
 - ・特に改善が必要とされる種目は、握力、20mシャトルラン、ハンドボール投げである。
 - ・改善点への取組（教科体育の時間以外）としては、体育館内にトレーニング器具を設置し、自主的に活動できる環境作りに努め、部活動と連携して持久力に繋がるトレーニングを実践していきたい。
- 避難訓練時の避難経路が単線道路沿いであることを変更すべきかが課題である。
- SDGsの3「すべての人に健康と福祉を あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」を関連させて保健・安全指導を充実させていきたい。

④ 家庭地域との連携

重点努力事項	具体的取組	学校の自己評価結果コメント	学校運営協議会委員の評価コメント
<p>学校からの積極的な情報発信を充実させる取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学年通信・学級通信を定期的に発行した。 ○ 学校教育活動の様子をホームページで発信した。 ○ 学校運営に関することは、シグフイー（学校保護者間連絡ツール）で保護者へ知らせた。 ○ 体育大会を民生児童委員・主任児童委員の方々に来賓として参観していただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学年通信や学級通信で、各担当職員から保護者へ、定期的に学校の情報を発信できた。 ○ 学校ホームページで、幅広い方々を対象に学校の情報を発信できた。 ○ シグフイーを活用し、大雨時の対応や行事実施に関する連絡、感染症流行情報等をタイミングよく発信できた。 ○ 昨年度は、来賓を学校運営協議会委員の方に限定していたが、今年度はコロナが5類扱いとなり、来賓の人数を増やすことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多くの方々に山之口の中の現状を知っていただくためには、ホームページで紹介したり、学校に来られる環境を作ったりしてほしい。 ○ ホームページの管理も大変そうだ。 ○ 学校行事の写真を添付するなど、HPでの発信を継続してもらいたい。 ○ コロナが5類になり、地域のリバウンドも復活している。学校だよりのリバウンドもぜひ復活してほしい。HPだけでは周知は難しいと思う。 ○ 体育大会で頑張っている姿を、多くの人に見ていただけて良かった。 ○ 体育大会を初めて参観された民生委員の方が、生徒主導による運営だと知り、とても感激されていた。
<p>地域行事への積極的な参加と交流に関する取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の行事への参加を呼びかけた。 ○ 花祭り活動と年賀状作成で高齢者の方々と交流した。 ○ 小中学生が、まちづくり協議会と山之口の活性化や将来について考える「弥五郎塾（未来創造塾）」に生徒会役員が参加し、意見交換を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 弥五郎どん祭りでは、10名が「浦安の舞」「巫女」「太鼓かつぎ」「人形浄瑠璃」で参加した。 ○ あげ馬祭りでは、14名が「太鼓持ち」「弓持ち」「ひょうたんさし」「露払い」で参加した。 ○ 休日の行事への参加は、部活動との調整が難しかった。 ○ 民生児童委員の方たちに協力していただき、花祭り活動と年賀状作成で地域の高齢者の方たちと交流することができた。 ○ 地域の方と一緒に山之口の特徴を話し合い、地域を活性化させるための対策を考えることで、地域理解を深めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の行事・伝統行事に積極的に参加・協力してもらえるのでありがたい。このような行事への参加やボランティア活動が、地域愛の心を生み活気につながってくれと信じている。 ○ 弥五郎どん祭り、人形浄瑠璃、上げ馬など、地元につながる伝統文化芸能を継承してもらいたい。 ○ 今後も山之口のために、地域の行事に積極的に参加して協力してほしい。 ○ 学校行事、部活、勉強会、生徒も忙しい中、よく地域行事に参加していると思う。今後も部活動との調整をお願いしたい。 ○ 弥五郎塾が地区と一体となって継続してほしい。 ○ 弥五郎塾では、中学生が上手にチームを引っ張っていた。活発な意見交換ができて良かった。 ○ ふるさつを思うモチベーションが高い。
<p>地域人材の活用に関する取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャリア教育集会でオリムピックメダリストの松田丈志氏に講話をしていただいた。 ○ 1年生のキャリア教育で、地域の企業の方に「働くこと」について講話をしていただいた。 ○ 1年生の総合的な学習の時間「地域を知る」の調理活動で、ボランティアの方に郷土料理を教えていただいた。 ○ 2年生の職場体験学習で、商工会に事業所を紹介していただき、地域内で体験活動を行うことができた。 ○ 3年生の福祉教育で、社会福祉協議会の方々に協力していただき、安全で充実した活動ができた。 ○ AED講習、薬物乱用防止教室、性教育(各学年1回)で消防署や警察署、助産師や看護協会の方に講話をしていただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ まちづくり協議会の主催する「山之口地区人生チャレンジ講演会」に全校生徒が参加し、松田丈志氏の講演を聞いた。生徒にとって今努力すべきことや将来の自分の生き方を考える良い機会となった。 ○ キャリア教育集会を、来年度から対話形式に変えることを検討中である。対話形式に変えるために資料を収集した。 ○ 学校の教育活動において、地域の方に協力していただき、活動を充実させることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 成功者や色々な経験を積んだ人の話を聞くことは、自分自身や将来のことを考える上で大変役立つと思う。キャリア教育集会の形式変更も良いと思う。 ○ キャリア教育集会は、主催者や内容など検討が必要だ。 ○ 受け身のキャリア教育集会を生徒たちはどう受け止めているのか気になっていた。「人生グラフ」を記載してみて、自分の人生を振り返る機会になった。 ○ キャリア教育は、特別な人の話を聞くことは刺激になると思うが、身近な人の仕事、人生等に対する思いを聞くことも将来に向かって大事なことと思う。今後の在り方が楽しみだ。 ○ まちづくり協議会と連携しながら、松田氏のような講演を年1回でも開催してほしい。 ○ 学校行事が多く、先生・生徒は大変ですが、これからもよろしくお願ひします。

【課題と改善策】

- 生徒会の活動として、文化委員会が学校新聞を作成し、地域の方々に見ていただけるようにしていきたい。
- 学校ホームページは、さらに幅広い方々を対象に情報を発信できるように、また、分かりやすいように工夫をしていきたい。
- キャリア教育集会の講師について人選を進め、早めの講師確保に努める。
- さらに地域の伝統文化継承活動・地域行事等への積極的な参加と交流を図ってきたい。